

2016年度 音楽科第1回特別教育計画

第6回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門審査委員

ダン・タイ ソン先生による ピアノ公開レッスン

◆◆◆ ◆◆◆

日時 2016年6月14日(火)
18時00分～19時30分

場所 音楽館ハンセン記念ホール

◆◆◆ ◆◆◆

《受講生/受講曲》

佐藤 晴香(音楽科1年)

ショパン / スケルツォ 第2番 作品31 変口短調
F.Chopin / Scherzo Nr.2 Op.31 b-moll

吉田 明香里(音楽科3年)

ブラームス / ピアノソナタ 第1番 作品1 八長調より 第1楽章
J.Brahms / Sonate für Klavier Nr.1 Op.1 C-dur 1 Satz



©Harold Fortin

ダン・タイ ソン DANG Thai son 先生 プロフィール

世界を舞台に活躍するベトナム人ピアニスト。1980年10月、ワルシャワで開催された第10回ショパン国際ピアノコンクールで優勝し、一躍音楽界の注目の的となる。これは、一流国際コンクールにおけるアジア人ピアニスト初の優勝という快挙でもあった。

故郷ハノイで母親からピアノの手ほどきを受けた後、モスクワ音楽院で、ヴラジーミル・ナタンソンやドミートリ・バシキーロフに師事。

ショパン国際ピアノコンクール優勝後、40を超える国々を訪れ、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、モントリオール交響楽団、BBCフィルハーモニー管弦楽団、パリ管弦楽団、NHK交響楽団等、世界的に著名なオーケストラや室内管弦楽団と共演。

また著名な国際音楽祭での演奏も数多く、NHKの「ニューイヤー・コンサート」(1995年)において、ヨー・ヨー・マ、小澤征爾、キャスリーン・バト、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチとの共演が実現。2001年には、アイザック・スターン最後の音楽祭となった宮崎国際音楽祭に参加、ピンカス・ズーカーマンとの3度の共演を含むコンサートを行った。ショパン生誕200周年の2010年3月1日には、ワルシャワ国立オペラ劇場において、フランス・ブリュッヘン指揮のもと、18世紀オーケストラとピアノ協奏曲第2番を披露した。

世界中から招聘を受け、多数のマスタークラスを開催。現在は、モントリオール大学(カナダ)で教鞭を執る。また、ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)、クリーヴランド国際ピアノコンクール(アメリカ)、アルトゥール・ルビンシュタイン国際ピアノコンクール(イスラエル)、クララ・ハスキル国際ピアノコンクール(スイス)、浜松国際ピアノコンクールなど、権威ある国際コンクールの審査員を務めている。

これまでの半生をまとめた伝記、『ショパンに愛されたピアニスト—ダン・タイ・ソン物語』が、ヤマハミュージックメディアより2003年に刊行されている。

☆通訳 西村 美恵

(宮城学院女子大学音楽科(文化系)卒業。アメリカカンザス大学にて修士、並びに博士課程修了)

主催 宮城学院女子大学学芸学部音楽科

お問い合わせ

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1 TEL/FAX 022-277-6130

E mail music@mgu.ac.jp URL <http://www.mgu.ac.jp/~music/>

入場無料

協力 仙台国際音楽コンクール事務局